

川や湖に流れ込んだ医薬品は 魚にどんな影響をあたえるのか

独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進費「環境医薬品の魚類次世代生産への影響解析」(5-1952)
情報発信セミナーおよび
長崎大学海洋未来イノベーション機構(OMST)
セミナー&シンポジウム「海と地球と人と」第8回東京セミナー

主催:環境医薬品の魚類次世代生産への影響解析プロジェクトチーム
(長崎大学・京都大学・東京理科大学)

共催:国立大学法人長崎大学海洋未来イノベーション機構(OMST)

日時:2020年3月14日(土)13:30~16:45(13:00開場)

会場:TKP九段下神保町ビジネスセンター カンファレンスルーム2A
(東京都千代田区神田神保町3-4 柳川ビル2階)

募集人数:50名(事前申し込み制) お申し込みは以下のHPより

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScobqPykf5XuNBI4usdyUhANbZxzZfSOH3wCRrBITLmi-oHbg/viewform?vc=0&c=0&w=1>



募集期間:2020年3月6日まで

参加費:無料

我々が使用した医薬品は環境中、特に水域に放出されます。これらを環境医薬品と呼びますが、いったい魚類にどのような影響を与えるのでしょうか。新たな環境問題「環境医薬品」に焦点を当てた研究を紹介します。

【プログラム】

13:00~	受付開始・開場
13:30	開会 司会:村田良介(長崎大学)
13:30~14:00	開会挨拶・研究概要説明 征矢野 清(長崎大学 プロジェクトリーダー)
14:00~14:25	医薬品は体の中でどのように働くか? 宮奥香理・宮川信一(東京理科大学)
14:25~15:05	神経系医薬品の種類とその水環境中の存在実態 井原賢・中田典秀(京都大学)
15:05~15:20	休憩(15分)
15:20~15:45	医薬品の魚類の行動および生理機能への影響 長江真樹・蓮平裕次(長崎大学)
15:45~16:15	話題提供:環境中に存在する化学物質の生物影響 井口泰泉(横浜市立大学)
16:15~16:45	総合討論 征矢野清(長崎大学)
16:45	閉会

